

下水について分かったこと

古場 有紗

水巻町立 猪熊小学校

わたしは、社会科の学習で下水道について学びました。わたしは今回の学習の前までは、水がどこできれいになっているのかわりませんでした。特に、三つの実験を通して、下水道の大切さや水のごれをへらすためにできることなどについて、考えることができました。

一つ目の実験は、水にながせるものと流せないものの実験をしました。この実験は、ペットボトルにトイレットペーパーを入れて、たくさんふるとけるけど、ティッシュをペットボトルに入れてふつてもとけませんでした。このことから、ティッシュはとけないから、下水に流したらいけないことがわかりました。この実験で、下水にゴミを流すことがどれだけいけないかがわかりました。

二つ目の実験は、使ったあとの水と下水しせつできれいになった水をくらべる実験をしました。はじめは、使ったあとの水をおいしました。少しくさかったです。次に、下水しせつできれいになった水をおいしました。においはなかったです。さい後に、脱水ケーキをおいしました。とてもくさかったです。でもその水たちは、わたしたちがつかった水だと考えると、下水しせつできれいにするこの大切さを感じました。

三つ目の実験では、微生物を使って、よごれた水をきれいにするしくみについて学びました。下水しよ理場では、「活性汚泥」というたくさんの微生物が水の中のごれを食べてくれるそうです。実験の中

では、水の中にいる微生物をけんびきょうで見たり、微生物の動きを観察したりしました。小さな生き物がきたない水をきれいにするため働いてくれていることを知って、おどろきとともに感しゃの気持ちがいってきました。

三つの実験を通して、わたしは下水道がどれだけ私たちの生活をささえているかを知りました。これからは、自分にできることは、水を使っていないときは水を出しっぱなしにしないで、せつ約することをたいせつにしていきます。まだまだ水のことを知りたいです。